

# 次世代ナノ・マイクロ加工

# 食の安心・安全

# 超早期診断



知の拠点 次世代も ン光利用施設、同12年のつくり技術を創造する。瀬戸、豊田市境の愛知万博跡のため、県が産業界や大学と連携して整備を進める研究開発拠点。先端技術の共同研究施設(先導的中核施設、供用開始2011年)と、物質の計測分析施設(シンクロトロ)

ン光利用施設、同12年のつくり技術を創造する。瀬戸、豊田市境の愛知万博跡のため、県が産業界や大学と連携して整備を進める研究開発拠点。先端技術の共同研究施設(先導的中核施設、供用開始2011年)と、物質の計測分析施設(シンクロトロ)

県が新産業育成の中核事業と位置付ける「知の拠点」づくりで、大学や企業と連携して重点的に取り組む三つの研究開発プロジェクトが決まった。「次世代ナノ・マイクロ加工技術」「食の安心・安全技術」「超早期診断技術」をテーマに、研究成果の早期の実用化や製品化を目指す。

重点プロジェクトらによる外部評価委員「先導的中核施設」がは、産業への波及効果 会などが十テーマの中 供用開始となる一二年や製品化の見通し、社 から絞り込んだ。二〇 度から二テーマあたり 会的課題解決の可能性 一〇年度から予備研究 年四億一五億円の県費 などを基準に、有識者 に入り、知の拠点の 研究開発を続ける。

「先導的中核施設」が 供用開始となる一二年 度から二テーマあたり 年四億一五億円の県費 を投入、一五年度まで 研究開発を続ける。

# 「知の拠点」3テーマ決定



おもしろい

「そんな言い訳あり？」  
 (「まみ食いをするの」)  
 私 誰がいついていったの  
 ? 子 ぼくの心が許した  
 にしむら・やすなり (13 こたよ)

私 会社で働いている人の  
 ? 子 サラリーマンってなに  
 歳 常滑市、母・西村泉  
 「ヒーロー」  
 子 のか  
 こん  
 瑞穂  
 (ト)

## 新産業育成へ県 研究成果 実用化狙う

「次世代ナノ・マイクロ加工技術」(プロシエクトリーダー・中村隆名古屋工業大教授)は、ものづくり産業に活用できる高スピード、高精度の材料加工技術を確立し、軽量自動車部品や炭素繊維強化プラスチック製航空機部材の製品化につながる。

「食の安心・安全技術」(同・田中三郎豊橋技術科学大教授)では、食品への農薬や金属などの異物混入を防ぐ高精度の検査技術を開発し、食品以外への応用も探る。

「超早期診断技術」(同・太田美智男名古屋大教授)は、脳卒中や心臓病、動脈硬化などの早期診断技術を開発し、測定機器や高精度内視鏡などの医療機器製造に伴う新産業創出や、新たな医療システムの構築を目指す。

県が整備を始めた「知の拠点」建設地。左後方は愛・地球博記念公園、瀬戸、豊田市境で(本社へリ)あさ(2)か(2)